



6 祝 八代港新コンテナターミナル供用式



7



8

- 6 平成 28 年 7 月 29 日八代港コンテナターミナル機能高度化事業報告会セレモニー
- 7 新コンテナターミナルと高さ 60 m のガントリークレーン
- 8 海外から運ばれたコンテナをクレーンで積み下ろします

## 世界に開く南九州の玄関口へ



海の玄関口である八代港。国際旅客船拠点形成港湾の指定を受け、国、県、RCLの3者が連携し、八代港の国際クルーズ拠点を整備。クルーズ船専用岸壁が完成し貨物船とクルーズ船の岸壁が区分されたことで交流人口の増加と物流機能の飛躍的向上につながる事が期待されます。にぎわいと活気に満ち溢れた世界に開く八代港を目指します。

# 飛躍する八代港



1



2



3



4



5

- 1 一列に並んだくまモンがお出迎え
- 2 竹林の道にもくまモンがひょっこり
- 3 日本庭園には大きな池や滝があります
- 4 シンボル「ビッグくまモン」との記念撮影は必須
- 5 軽食やお土産が買えます



テナント名	商品内容
くまモンポート八代観光案内所	観光案内情報など
肌美和	馬油製品の販売
彫刻屋 熊本ブラスト	木彫り製品の販売
Port & Café Sugar Jr.	アイスクリームなどスイーツ製品の販売
くまモングッズ ユニックス	Tシャツ、タオルなど
DaDa Shop	カットフルーツ、生ビール、お弁当など
OCEAN	唐揚げ、たこ焼きなど
くまもと うまかもんマルシェ	物産品の販売
季乃菓	スイーツ各種の販売
お茶の泉園	お茶製品の販売など

**「みなとオアシス八代」で 地域活性化**

港や海岸を積極的に活用し、地域のにぎわい交流拠点を作り出す「みなとオアシス」制度に「みなとオアシス八代」として登録が決定しました。今後、くまモンポート八代を中心として、

港や海岸を積極的に活用し、地域のにぎわい交流拠点を作り出す「みなとオアシス」制度に「みなとオアシス八代」として登録が決定しました。今後、くまモンポート八代を中心として、

港や海岸を積極的に活用し、地域のにぎわい交流拠点を作り出す「みなとオアシス」制度に「みなとオアシス八代」として登録が決定しました。今後、くまモンポート八代を中心として、

### 八代港の発展①

### 新たな観光スポット 「くまモンポート八代」

**くまモンポート八代 プレオープン期間中の入園**

**開園日**  
土日祝日のみ

**対象者**  
熊本県民のみ  
(住所が確認できるもの持参)

**開園時間**  
午前9時～午後5時  
(午後4時30分受付終了)

心に港や海岸を活用したイベントなどを開催し、地域住民の交流や観光振興を通じた地域活性化の拡大を図ります。

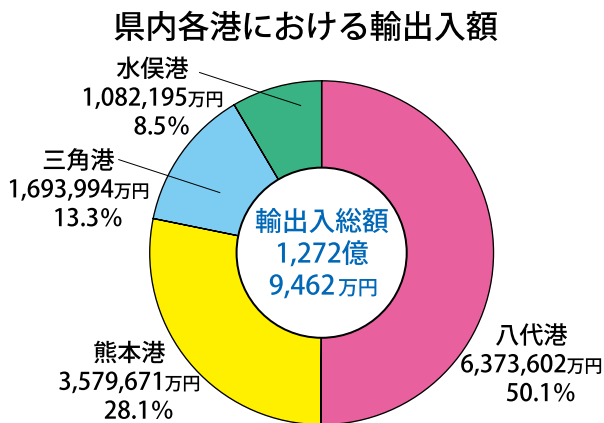
問合せ 観光・クルーズ振興課 ☎ 33 4 1 1 5

# 八代港の発展②

## コンテナターミナルの機能が大幅に向上

### 県内最大の貿易港

平成30年4月に国・県支援のもと、新コンテナターミナルが整備され、3万トン級の船舶への対応が可能となりました。さらに、必要となる検査体制などを官民が連携して整えたことで危険物や高圧ガスの取り扱いもできるようになりました。令和2年には県内各港における輸出入総額と海上貨物量では、金額で50%、貨物量で66%を占めるなど、八代港は県内最大の国際貿易港に発展しています。加えて、これまで南九州にはなかった危険物倉庫が立地され、利便性の向上につながっています。



### 台湾との港を結ぶ 国際定期コンテナ航路が就航

これまで、韓国・釜山港との間に週3便の国際コンテナ航路が就航していましたが、今年1月、新たに県内初となる台湾の港（基隆、台中、高雄）との直行航路が開港され、毎週金曜日に就航しています。今後も中国や東南アジアなどの新規航路誘致活動を積極的に展開し、東アジアのゲートウェイを目指します。



問合せ 商工・港湾振興課 ☎ 338777

## くまモンポート八代港開港

### 5月寄港予定のクルーズ船

※寄港する船は、国内クルーズ船で乗船者全員PCR検査を受けるなど、新型コロナウイルス感染症感染予防対策を徹底しています。寄港スケジュールは変更となる場合があります。

#### 5月10日(月) 飛鳥II



##### 飛鳥II

郵船クルーズ(株)が運航するクルーズ客船。

##### 運行ルート

神戸～別府～長崎～八代～神戸

#### 5月26日(水)～27日(木)

### ぱしふいっくびいなす

##### ぱしふいっくびいなす

日本クルーズ客船(株)が運航するクルーズ客船。

##### 運行ルート

大阪～日南～八代～佐世保～別府～大阪



飛鳥II



#### 国内クルーズ船社における主な感染対策について



ソーシャルディスタンスを確保するため、乗船客数の定員を制限して運行します。



寄港地への上陸・帰船時は乗船客の検温を実施します。



寄港地観光ツアーは、専用バスの定員を制限して運行します。



船内各所に体温測定カメラを設置し、乗船客の体温を測定します。



船内の換気システムは約10～40分で新しい空気に入れ替わります。



船内各所に手指消毒用アルコールを設置します。



船内で有症者が発生した場合、新型コロナウイルス感染症のPCR検査を船内で実施します。